

2012年第1四半期決算説明資料

2012年7月31日

川崎汽船株式会社

A. 2012年度第1四半期決算概要

- A-1 第1四半期決算概要
- A-2 上期業績予想
- A-3 通期業績予想
- A-4 業績変動のポイント
- A-5 コスト削減の進捗状況

B. 部門別業績動向

- B-1 コンテナ船
- B-2 不定期専用船 – ドライバルク
- B-3 不定期専用船 – 自動車船
- B-4 不定期専用船 – LNG船・油槽船
- B-5 海洋資源開発及び重量物船

A. 2012年第1四半期決算概要

A-1. 第1四半期決算概要

(単位: 億円)

	2012年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減額
売上高	2,736	2,442	294
営業損益	41	▲ 99	140
経常損益	72	▲ 88	160
当期純損益	▲ 7	▲ 37	30
為替レート	¥80.77	¥82.04	▲ ¥ 1.27
燃料油価格	\$716	\$644	\$72

		2012年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減額
コンテナ船	売上高	1,332	1,226	106
	経常損益	6	▲ 72	78
不定期専用船	売上高	1,250	1,053	197
	経常損益	60	▲ 10	70
海洋資源開発 及び重量物船	売上高	52	48	4
	経常損益	5	▲ 10	15
その他	売上高	102	115	▲ 13
	経常損益	12	13	▲ 1
調整額	売上高	-	-	-
	経常損益	▲ 11	▲ 9	▲ 2
合計	売上高	2,736	2,442	294
	経常損益	72	▲ 88	160

前年同期比

- ・為替変動: 1.27 円 円高 ⇒ ▲4 億円
- ・燃料油価格変動: \$72 高 ⇒ ▲23 億円

セグメント変更

- ・物流事業:
「その他」→「コンテナ船」
- ・エネルギー資源輸送事業開発・オフショア支援船・重量物船:
「不定期専用船」→「海洋資源開発及び重量物船」(新設)

A-2. 上期業績予想

(単位: 億円)

	2012年度			2011年度	前期比 増減額	期首公表	期首公表比 増減額
	1Q実績	2Q見込	上期	上期		上期	
売上高	2,736	2,764	5,500	4,970	530	5,400	100
営業損益	41	9	50	▲ 184	234	▲ 10	60
経常損益	72	▲ 32	40	▲ 203	243	▲ 20	60
当期純損益	▲ 7	▲ 43	▲ 50	▲ 186	136	10	▲ 60
為替レート	¥80.77	¥79.77	¥80.27	¥80.24	¥0.03	¥80.00	¥0.27
燃料油価格	\$716	\$640	\$678	\$656	\$22	\$720	▲ \$42

事業部門		2012年度		
		1Q実績	2Q見込	上期
コンテナ船	売上高	1,332	1,368	2,700
	経常損益	6	14	20
不定期専用船	売上高	1,250	1,250	2,500
	経常損益	60	▲ 20	40
海洋資源開発 及び重量物船	売上高	52	48	100
	経常損益	5	▲ 25	▲ 20
その他	売上高	102	98	200
	経常損益	12	8	20
調整額	売上高	-	-	-
	経常損益	▲ 11	▲ 9	▲ 20
合計	売上高	2,736	2,764	5,500
	経常損益	72	▲ 32	40

【収支前提】

為替レート前提 2Q 79.77円

バンカー価格前提 2Q \$640/MT

A-3.通期業績予想

(単位:億円)

	2012年度			2011年度			前期比 増減額	12年度期首公表		
	上期	下期	通期予想	上期	下期	通期		上期	下期	通期
売上高	5,500	5,800	11,300	4,970	4,753	9,723	1,577	5,400	5,800	11,200
営業損益	50	220	270	▲ 184	▲ 222	▲ 406	676	▲ 10	170	160
経常損益	40	180	220	▲ 203	▲ 287	▲ 490	710	▲ 20	140	120
当期純損益	▲ 50	130	80	▲ 186	▲ 228	▲ 414	494	10	100	110
為替レート	¥80.27	¥80.00	¥80.13	¥80.24	¥77.89	¥79.06	¥1.07	¥80.00	¥80.00	¥80.00
燃料油価格	\$678	\$720	\$699	\$656	\$689	\$672	\$27	\$720	\$720	\$720

(単位:億円)

事業部門		2012年度		
		上期	下期	通期
コンテナ船	売上高	2,700	2,700	5,400
	経常損益	20	10	30
不定期専用船	売上高	2,500	2,600	5,100
	経常損益	40	170	210
海洋資源開発 及び重量物船	売上高	100	200	300
	経常損益	▲ 20	▲ 10	▲ 30
その他	売上高	200	300	500
	経常損益	20	30	50
調整額	売上高	-	-	0
	経常損益	▲ 20	▲ 20	▲ 40
合計	売上高	5,500	5,800	11,300
	経常損益	40	180	220

【配当計画】 中間:未定 / 期末:未定

【収支前提】 前回公表前提から見直しせず

為替レート前提 下期 80円

バンカー価格前提 下期 \$720/MT

【下期変動影響】

為替変動: 1円増減⇒±7億円

燃料油価格変動: \$10/MT変動⇒±7億円

A-4.業績変動のポイント

<対前年同期比>

1Q :増収 (+294 億円)・増益 (+160 億円)

上期 :増収 (+530 億円)・増益 (+243 億円)

損益変動要因	12F1Q実績 前年同期比	12F上期見込 前年同期比	概況
為替変動	-4	0	1Q為替1.27円安、上期はほぼ見込み通りで推移
バンカー変動	-23	-14	1Qバンカー価格\$72/MT高、上期は\$22/MT高
市況変動	44	80	コンテナ船の運賃修復、ドライバルクは市況低迷
営業規模	74	92	自動車震災影響解消、コンテナ船の荷動き回復
減価償却費	13	30	船舶償却年数の変更に伴う改善
コスト変動	58	99	コスト削減は順調に進捗
関係会社	6	-24	—
その他	-8	-21	—
合計	160	243	

<対期首公表比>

上期 :増収 (+100 億円)・増益 (+60 億円)

損益変動要因	12F上期 期首公表比	概況
為替変動	2	為替はほぼ見込み通りで推移
バンカー変動	27	上期バンカー価格\$42/MT安
市況変動	-2	コンテナは順調、ドライバルクは市況低迷
営業規模	-4	コンテナ船は積高下回るも自動車は堅調
減価償却	30	船舶償却年数の変更に伴う改善
コスト変動	-10	—
関係会社	11	—
その他	5	—
合計	60	

A-5.コスト削減の進捗状況

- ・期首に設定した今年度のコスト削減目標は280億円。
- ・第1四半期に58億円のコスト削減・収支改善を達成済み(進捗率21%)。
- ・通期では期首に設定した目標は達成可能の見込み。

単位(億円、%)

	期首目標	1Q実績	進捗率	通期見込	達成率
コンテナ船:構造改革	105	22	21%	105	100%
コンテナ船:運航コスト削減・収益改善	100	18	18%	95	95%
不定期専用船・その他	60	13	22%	65	108%
本部:一般管理費コスト削減	15	4	26%	15	100%
合計	280	58	21%	280	100%

B. 部門別業績動向

B-1. 部門別業績動向 コンテナ船

<12F1Q実績> 前年同期比 増収・黒字回復/ 公表前提比 増収・黒字回復
運賃修復/航路合理化により、大幅な改善を実現

<今後のポイント>

繁忙期にかけての運賃修復度合
減速航行等のコスト削減対応

		2011年度					2012年度
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績
売上高(億円)		1,047	1,055	930	923	3,955	1,332
経常損益(億円)		▲ 78	▲ 105	▲ 134	▲ 101	▲ 418	6
運賃推移 08年1Q=100	北米往航	94	94	91	94	93	100
	欧州往航	71	68	62	69	68	97
積高(万TEU)	北米往航	16.3	17.0	15.6	14.3	63.1	18.4
	欧州往航	13.0	13.5	11.0	10.4	47.9	13.6
スペース(万TEU)	北米往航	17.6	17.8	17.0	15.8	68.2	19.1
	欧州往航	13.4	14.1	11.8	11.8	51.3	14.3
消席率(%)	北米往航	93%	96%	91%	91%	93%	96%
	欧州往航	97%	96%	93%	88%	93%	95%

B-2. 部門別業績動向 - 不定期専用船 ドライバルク



＜12F1Q実績＞ 前年同期比 増収・減益 / 公表前提比 増収・増益

大型船 : 中国向け鉄鉱石の荷動きは堅調に推移。解撤や係船が促進される動きが見え始めるも、需要を上回る新造船の大量竣工により市況低迷が継続

中小型船 : 船腹供給過多の影響に加え、インドネシアの鉱物輸出規制等が影響し、厳しい事業環境続く

＜今後のポイント＞

大型船 : 新造船の供給圧力が継続、市況の大幅回復は遅延

中小型船 : 穀物を中心に順調な荷動きが見込まれるも、船腹供給過多の影響や大型船の低迷に引きずられ厳しい市況環境が継続

バルク市況	2011年					2012年度予想		
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q予想	上期予想
ケープ(170型)	\$8,600	\$17,000	\$28,800	\$7,000	\$15,350	\$6,000	\$8,000	\$7,000
パナマックス(74型)	\$13,800	\$12,900	\$14,600	\$8,000	\$12,325	\$10,000	\$9,000	\$9,500
ハンディ(53型)	\$14,600	\$14,000	\$15,600	\$8,700	\$13,225	\$11,000	\$9,000	\$10,000
スモール	\$11,800	\$10,100	\$10,600	\$7,800	\$10,075	\$9,000	\$9,000	\$9,000

B-3. 部門別業績動向 - 不定期専用船 自動車船

＜12F1Q実績＞前年同期比 増収・黒字回復 / 公表前提比 増収・増益

1Q輸送台数:905千台(前年同期比 24%増)

日本・アジア出し/三国間での安定した荷動きにより収支回復

＜今後のポイント＞

- ・日系自動車メーカーの海外生産拡充への対応
- ・建設機械/大型非自走貨物の取り扱い拡大

		2011年度					2012年度
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績
輸送台数 (千台)	往航	162	252	292	310	1,016	301
	復航	76	72	77	66	290	84
	三国間	281	282	304	281	1,148	309
	欧州域内	214	204	231	203	852	212
	合計	732	810	904	860	3,306	905
当社船隊規模	隻数	88	97	94	97	-	100

B-4. 部門別業績動向 - 不定期専用船 LNG船・油槽船

<12F1Q実績> 前年同期比 売上横ばい・損益増益 / 公表前提比 増収・黒字回復

【LNG】 堅調なLNG需要の中、安定収益を確保

【油槽船】 VLCC 中国/米国向け需要の落ち込みによる市況軟化

AFRAMAX 船腹供給過剰による市況低迷も、減船による収益改善

<今後のポイント>

【LNG】 長期・中期契約による安定稼働

【油槽船】 船腹需給悪化により、市況回復にはまだ時間を要する

油槽船市況 (WS)	2011年度					2012年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q実績	2Q見込	上期見込
VLCC(中東/日本)	54	47	56	67	56	52	45	49
Aframax(南方/豪州)	105	95	100	107	102	84	87	86
クリーン7万トン型(中東/日本)	119	123	115	101	115	91	85	88

B-5. 部門別業績動向 - 海洋資源開発及び重量物船

【海洋資源開発】

＜12F1Q実績＞ 前年同期比 売上横ばい・損益増益 / 公表前提比 増収・黒字回復

【オフショア支援船】 一部の船で稼働率低下するが為替評価益もあいまって業績改善

＜今後のポイント＞

【オフショア支援船】 中長期契約にて安定収益確保を目指す

【ドリルシップ】 12F2Qより稼働開始し収支に寄与。長期安定的な収益源として貢献

【重量物船事業】

＜12F1Q実績＞

前年同期比 減収・損益見込みどおり / 公表前提比 減収・損失拡大

＜今後のポイント＞

荷動きの回復に伴い市況の回復も見られるが、本格的な回復にはまだ時間を要する